



2019.10.4

今回のお話を伺った鈴木先生は、統計データを駆使した計量経済学、地域経済学がご専門です。特にご担当の大学院生の研究対象でもある中国の経済分析については、図書館1階の統計資料をご活用いただいています。今回も一般にはなじみの薄い中国の統計資料について、その研究での利用状況や、選書に関するさまざまなアドバイスをいただきました。

また、今後は学部生にも、世界の経済統計を用いた講義を展開して行きたいので、適切なサイトはないかのご相談を受けました。近年は国連ほか、国内外のさまざまな公的機関が統計データを公開しています。図書館ホームページの「情報リンク集」でもこうしたサービスを紹介しており、今回もご要望に合わせたサイトのリンクを追加しました。

また学生の指導においては、剽窃や盗用などを防ぐ研究倫理の点で苦慮されているという話を伺いました。図書館のガイダンスでもパンフレットを配布するなど、引き続きこうした啓蒙活動にご協力させていただきたいと考えています。



ふるさとの図書館の思い出～「旧」中村図書館～
経済学部 准教授 鈴木雅勝

私にとっての初めての図書館との出会いは、名古屋市中村区の名古屋市立中村図書館であった。小学校入学から中学卒業まで暑くも寒くも毎週日曜日に訪問し、本を3冊ずつ借りては自宅で読書をしたものだった。本というものは、情報の宝庫である。何でも読者に語り掛け、教えるを乞うてくれるありがたいものである。

この建物は、昭和12年（1937）に当初、配水塔として建てられ、地下1階、地上5層、高さ約29.4mの鉄筋コンクリート製で、建設費は15万円だったという。配水塔としての活用は僅か5～6年で、以後公園のシンボルとしての役割を演じていたところ、昭和40年（1965）に市民の要望を受けて図書館として生まれ変わり、広く市民に愛用されるようになった。私は昭和56年（1981）から平成2年（1990）まで9年間お世話になったことになる。まるでギリシア神殿を思わせるようなその外観は荘厳であり、子供心に毎週お目に掛かれるのが楽しみであった。平成元年（1989）には「名古屋市都市景観重要建築物」に認定され、平成3年（1991）に図書館は、中村公園文化プラザに移転となった（こちらは豊臣秀吉公生誕の地に隣接し、別名「秀吉・清正記念館」と称す建物である）。

現在は、平成7年（1995）に改修され、名古屋市文化振興事業団によって演劇練習館（「アクテノン」）として第三の人生を送っている。

大学院生になって以来、全国あちこちの都市へ学会等で出かける度に、公共の図書館や大学の図書館に足を運ぶが、このような“歴史的建造物”にお目に掛かれることは稀で、いつも我が故郷の「旧」中村図書館の雄姿を思い出す。

本は、内容から一字一句の細部の表現に至るまで著者の熱意が込められた代物である。こうして執筆、出版された無数の本が図書館員さんの手で整理整頓され並んでいるのが図書館という空間である。いつかその空間の片隅に自分が書いた本が並ぶことを期して研究者になったものの、研究者になって改めて本を書くことの難しさを実感する。丁度、共著として出版する初めての学術本の執筆にあたっている最中である。

学生諸君も「本と接する空間」として図書館を有効に活用され、大学在学中は勿論のこと、今後の人生においてもどこかの図書館で本と接する時間を大切にされんことを切に願います。



筆者注：最上部の直径33m、水容量4,000㎡の円筒形水槽を、高さ20m、直径1.5mの円柱16本が支えている。

※写真：演劇練習館アクテノンより提供。

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

□ 平日 9:00-21:00 □ 休館
□ 土曜 9:00-19:00 □ 日曜 9:00-17:00



アドバイザー通信 学生アドバイザーからの情報・お知らせを発信します

10/2 ビブリオバトル予選会を運営しました

理学部化学科4年生アドバイザー 寺谷 充斗 (発表者として参加)

パトラーとして参加するのは3回目でしたが、かなり緊張し、練習した内容を言い切れませんでした。それでも予選会を勝ち抜けたのは、図書館員と学生アドバイザーとによる円滑な運営があったからです。一方、パトラー目線で気づいた点もあるので、高麗祭戦（11月3日）や来年の改善につなげたいと思います。



10/26・27 鶴ヶ島図書館まつりに参加しました

理学研究科物質科学専攻1年生アドバイザー 水出 光哉

水田記念図書館展示に学生アドバイザーとして参加させていただいた。展示の中で簡単な化学実験を行ったが、幼児からお年寄りまでたくさんの方が見に来てくれた。教員志望の私にとって、目をキラキラ輝かせながら実験に参加する子供たちとの時間は、幸せなものだった。



11/18 第19回ライブラリーラウンジを開催します

学生アドバイザー主催
ディスプレイの仕組みと
化学のお話
講師 理学部化学科准教授 橋本 雅司 先生
11月18日 15:10～16:40
図書館7階ラーニングcommons

インフォメーション

化学科・薬学部向け
データベース利用講習会

- 11/6 ● 医中誌Web
- 11/20 ● メディカルオンライン
- 12/11 ● JDreamIII
- 12/18 ● SciFinder

各回水曜 15:10～16:40
21号館201教室

申し込みは図書館1階カウンター または メール library1@josai.ac.jp まで

出版社講演会

パネラー
筑摩書房 喜入冬子 社長
平凡社 下中美都 社長
柏書房 富澤凡子 社長
総合司会 筑摩書房 顧問 菊池明郎氏

同時開催「学生選書」13:00～
11/27(水) 13:30～15:00
17号館202教室

6階グループ学習室が変わりました



- 48席の広いスペース
- 移動&組み合わせが自由な机
- ゼミのディスカッション、プレゼンの練習に、様々な場面で利用できます。

図書館彙報

9/11	日本医学図書館協会(JMLA)/日本薬学図書館協議会(JPLA) コンソーシアム説明会に参加。	10/17	全学一斉防災訓練に参加。
9/12-13	大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 2019年度版元提案説明会に参加。	10/25	埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)「Open Library Weeks 2019」に参加。
10/2	「全国大学ビブリオバトル2019～首都決戦～予選会 城西大学」を開催。	10/26-27	「鶴ヶ島市立図書館第32回図書館まつり」に参加。
		■ オープンキャンパス (10/6)	図書館見学者 95名 キーワードラリー参加者 22名
		■ 図書館見学 (9/20、10/9・11・19・29)	高校生 198名



全国大学ビブリオバトル

2019 ~首都決戦~予選会 城西大学



全国大学ビブリオバトル 2019~首都決戦~予選会 城西大学

ビブリオバトル
を始めます

ビブリオバトルとは
制限時間5分間で
おすすめの本を紹介
しあう書評ゲーム。

今年度は大会参加
経験者が1名のみと
いうダークホース揃い
の大会となりました。

全3試合、2時間
以上にも渡る激戦
お疲れ様でした！

各試合ごとに、観客は
一番読みたくなった本に
投票し、「チャンプ本」
を決めます。

今年の
チャンプ本は
この3冊です！

令和最初のビブリオバトル

10月2日(水)4・5限、図書館7階にて
「全国大学ビブリオバトル2019~
首都決戦~予選会 城西大学」を開催
しました。発表者は総勢17名。観戦
者は244名(発表者を含む)でした。



2019.10.2

『シェイプ・オブ・ウォーター』
ギレルモ・デル・トロ、ダニエル・クラウス著
阿部清美訳、竹書房、2018.

『コーヒーが冷めないうちに』
川口俊和著、サンマーク出版、2015.

『風に舞いあがるビニールシート』
森絵都著、文藝春秋、2006.

城西とビブリオバトル

城西大学で初めてビブリオバトルが行
われたのは2011年のこと。
その後2013年からは高麗祭でも開催
するようになり、毎年の恒例イベント
として認知度も年々高まっています。



2011年「ビブリオバトル
in紀伊國屋大学生大会」
に出場



2019年は
11/3(日)
開催

2013年から「ビブリオ
バトルin高麗祭」を開催

引き続き
応援をお願いします

チャンプ本発表者3名は
「全国大学ビブリオバトル2019
~首都決戦~関東地区決戦」に出場します。

内藤さん	関東Bブロック	11月17日(日)	大学生協杉並会館
寺谷さん	関東Cブロック	11月12日(火)	パシフィコ横浜
竹末さん	関東Dブロック	11月10日(日)	紀伊國屋書店新宿本店



図書館アドバイザーも
一緒に運営しました